

神戸観光局 NEWS LETTER vol.23 (2024.6.6)

CONTENTS

- P.1 インフィオラータこうべに37.5万人来場
- P.2 世界パラ陸でのユニバーサルな取り組み
教育旅行SDGsプログラムを7000人が体験
- P.3 神戸～大阪駅間鉄道開業150周年イベント
- P.4 神戸夜景ガイドのサイトをリニューアル
- P.5 就航都市プロモーション実施報告

- P.6 インバウンド誘致 韓国で商談会
- P.7 神戸フィルムオフィス通信
- P.8 MICE会場のバーチャル視察導入
インド圏インセンティブ誘致
- P.9 クルーズ客船入港情報
- P.10～11 神戸港イベント開催情報
- P.12 会員企業紹介 ～喜楽館様～

- ◆送付先の変更等のご連絡：経営推進部総務課
TEL：078-230-0800 観光局サイト：<https://kobe-dmo.jp>
- ◆本ニュースレターについて：
広報・メディアリレーション担当 TEL：078-855-4556



神戸の春の風物詩「インフィオラータこうべ2024」開催

来場者数は昨年を上回る37.5万人を記録！花びら再利用の新たな取り組みも

道路や広場にチューリップの花びらなどで絵模様を描き鑑賞するイベント「インフィオラータこうべ」。今年26回目を迎えた神戸の春の風物詩は、GWを中心に市内2会場で開催され、合計37.5万人もの来場がありました（昨年は36.4万人）。

北野坂会場のテーマは「ワールドスポーツ2024」。KOBE2024 世界パラ陸上競技選手権大会をはじめ、今後開催される世界大会などを題材とした8枚の花絵がチューリップ28万本の花びらで描かれました。インフィオラータこうべでは、球根に栄養をまわすために刈り取られ、捨てられてしまうチューリップの花びらを利用し、花絵を描いていますが、この環境にも配慮した取り組みに賛同した（株）ジャヴァコーポレーションでは、今回インフィオラータ終了時に廃棄される花びらを回収し、洋服の染料として再利用する新たな取り組み「ロスフラワープロジェクト」を行いました。

ご希望があれば、インフィオラータこうべの場を活用し、企業のCSR活動やSDGsの取り組み等の発信を行うことも可能ですので、お気軽にご相談ください。会員の皆様のご参画をお待ちしております。

- 【開催期間】・元町あなもん：4月27日(土)・28日(日)
・北野坂：5月3日(金・祝)～5日(日・祝)



北野坂会場の花絵



捨てられるはずの一輪の花を、軽やかに纏う。

INFIORATA KOBE / JAVA CORPORATION



ロスフラワープロジェクト

世界パラ陸上競技選手権大会に向けたユニバーサルな取り組み

車いすユーザーが利用できる60店の飲食店情報を追加

神戸市で5月17日(金)～25日(土)に開催された世界パラ陸上競技選手権大会。開催を機に、ユニバーサルな神戸のまちを楽しんでいただくため、神戸ユニバーサルツーリズムセンターの協力を得て、車いすユーザーが利用できるスポットを投稿・共有するスマートフォンアプリ「WheeLog! アプリ」に神戸市内のユニバーサルな飲食店60店舗の情報を集め、投稿しました。

投稿にあたっては、同センターのスタッフが実際に店舗に行き、間口の広さ、段差、EV、駐車場の有無などを調査。正確な情報を提供しています。

また、「WheeLog! アプリ」を紹介するため、ポストカードタイプの4種類のご案内を作成。選手や大会関係者に配布した他、市内60カ所の宿泊施設や大会会場などでも配布しました。



神戸の美しい景色をポストカードにして配布

大会期間中には観光情報の発信も

大会期間中には会場となる神戸総合運動公園内に設置された神戸市ブースにおいて、大会パンフレットなどの配布も実施。参加選手や観戦に来られたお客様、他都市からお越しのボランティアなどへ観光ガイドマップの配布やPR動画放映など、神戸の観光情報の発信を行いました。



神戸市ブース

教育旅行「KOBESDGs探究プログラム」

2023年度は約7,000名が体験！神戸の魅力が詰まった新たな教育旅行プログラム

2023年度より新たな教育旅行ツールとして「KOBESDGs探究プログラム」の運用をスタート。関東方面の旅行会社に事前にヒアリングを行ったところ、ニーズが高かったのが「SDGs、探究学習、キャリア教育」の3要素。それらを盛り込んだ神戸オリジナルの37本（昨年度末に8プログラム追加）のプログラムを、神戸を代表する企業、公共施設、大学等と連携して作り上げました。年間64校、全国各地からお越しいただいた約7,000名の学生様にご体験いただきました。

尚、教育旅行専用HPは、プログラムごとの紹介動画も追加したページにアップデート中です。 https://www.feel-kobe.jp/kyoiku_new/



事例紹介) アシックスのプログラム内容例

アシックススポーツミュージアムにて、トップアスリートたちのパフォーマンスを支えるシューズやウェアに実際に触れ、スポーツの楽しさと素晴らしさについて体感。スポーツを通じた青少年の育成や、再生ポリエステル材を使う循環型の取り組みなど、同社のサステナビリティ活動についても学びます。その後、リサイクル素材を用いて自身で作ったボールを使い、パラリンピックの正式種目ともなっているボッチャを体験。持続可能なモノづくりを通して、CO2削減に関心を持ってもらう内容です。別プログラムでは、複雑なシューズ製造の工程を体験し、モノを大切に作る意識を持つとともに「作る責任、使う責任」について考える内容も用意。

- プランA)
 - アシックススポーツミュージアム見学
 - 会社概要及び事業紹介
 - エコボッチャ体験
- プランB)
 - 会社概要及びサステナビリティ活動紹介
 - ミニチュアシューズワークショップ



【参画団体一覧】

(株) アシックス	グィッセル神戸	NTT西日本兵庫支店
外來生物展示センター	苅藻島クリーンセンター	川崎重工業 (株)
早駒運輸 (株)	菊正宗酒造 (株)	神戸空襲を記録する会
(株) 神戸クルーザー	神戸大学	神戸どうぶつ王国
(株) 神戸酒心館	神戸新聞地・喜楽館	(株) 神戸製鋼所
神戸ベイクルーズ (株)	(株) 神戸ポートピアホテル	(株) 神戸マツダ
(株) G-7ホールディングス	神戸紅茶 (株)	シスメックス (株)
(株) ノーリツ	ネスレ日本 (株)	萩原珈琲 (株)
白鶴酒造 (株)	東灘処理場 (下水処理場)	兵庫ダイハツ販売 (株)
兵庫トヨタ (株)	(株) フェリシモ	フジッコ (株)
麻酔博物館	国際くらしの医療館・神戸	神戸情報大学院大学
		神戸電子専門学校
理化学研究所計算科学研究センター	(株) JTB神戸支店	IKEA神戸
FC BASARA HYOGO	日本テクノロジソリューション(株)	NPO法人Peace & Nature
(株)ソウルメイト		

「神戸-大阪鉄道開業150周年プロジェクト」でJR西日本と連携

今年5月に神戸駅～大阪駅間の鉄道開業から150周年を迎えました。JR西日本が推進する「神戸～大阪鉄道開業150周年プロジェクト」において、神戸観光局では街歩きの特別プログラムなどの連携事業を実施しているほか、デジタルスタンプラリーなど各種事業への協力を行っています。

5月11日の記念日当日は神戸駅前広場で式典が執り行われたほか、記念列車の出発式、神戸駅舎へのプロジェクションマッピング（11日・12日実施）等のイベントも行われました。



神戸のとびらで「神戸-大阪鉄道開業150周年特別プログラム」3本を実施

神戸観光局では、神戸駅の歴史と関連した街歩きのプログラム3本を『神戸のとびら』で同プロジェクトの連携事業として販売・催行しました。

- 【特別プログラム①】 神戸駅と神戸のまちの遷変を鳥瞰図絵師・青山大介さんが解説。
150周年記念の特製駅弁付き
◇開催日：5月18日（土）
- 【特別プログラム②】 近代建築・都市史研究者の小代薫さんと、神戸駅～当時は貨物駅があったというハーバーランド～鈴木商店創業地などを散策
◇開催日：5月19日（日）
- 【特別プログラム③】 開業150周年を記念した「KobeINK物語」の特別カラーインクを用いて、文豪が書いた神戸や鉄道にまつわる名文を手写。ミニ街歩きも
◇開催日：5月26日（日）



150年前の神戸駅周辺を描いた鳥瞰図パネルを展示

今回、鳥瞰図絵師 青山大介さんが新たに制作した150年前の神戸駅周辺を描いた鳥瞰図。その解説付きパネル（A0サイズ）を神戸観光局で制作し、5月11日（土）～6月9日（日）の約1ヶ月間、神戸駅構内（ビエラ海側掲示板）に展示しています。神戸駅での展示終了後は、7月3日（水）まで神戸まちづくり会館4階のまちラボにて、青山さんの紹介スペースで展示予定です。



豪華景品が当たるデジタルスタンプラリーも開催中！

JR西日本のアプリ「WESTER」では神戸～大阪間の沿線地域である神戸市・西宮市・芦屋市・尼崎市の観光地や飲食店等を巡るデジタルスタンプラリーを開催中。神戸観光局では、神戸市内の事業者の皆さまに依頼し、スタンプポイント43ヶ所の協力を得ることができました。

9月30日（月）まで開催。抽選で宿泊券も当たります。



◆神戸-大阪鉄道開業150周年プロジェクトHP <https://www.kobe-osaka-150th.com/>

神戸のナイトイベント情報を発信！ 「神戸夜景ガイド【公式】コウベdeナイト」をリニューアル

神戸夜景ガイド【公式】



神戸の夜の観光情報発信を強化

神戸観光局では、神戸におけるナイトタイムのコンテンツの充実を通じた「滞在型観光」を推進しています。

今年3月にはナイトイベント情報発信を強化するため、神戸市都市局景観政策課とともに運営している神戸夜景ガイド「コウベdeナイト」サイトのリニューアルを行いました。

URL：<https://www.feel-kobe.jp/kobe-yakei/>

■リニューアル内容

①事業者の皆様が主催するイベントをご紹介します！

神戸市内のナイトタイムイベント情報を投稿できるフォームを設置しました。いただいた情報は、公式サイトで随時紹介していきますので、会員の皆様もぜひ情報発信にご活用ください。 イベント名や、期間、写真などを登録するだけの簡単で使いやすいフォームとなっております。

※掲載イベントには一定のルールがあります

②掲載内容・条件検索カテゴリーの追加、最新情報の提供

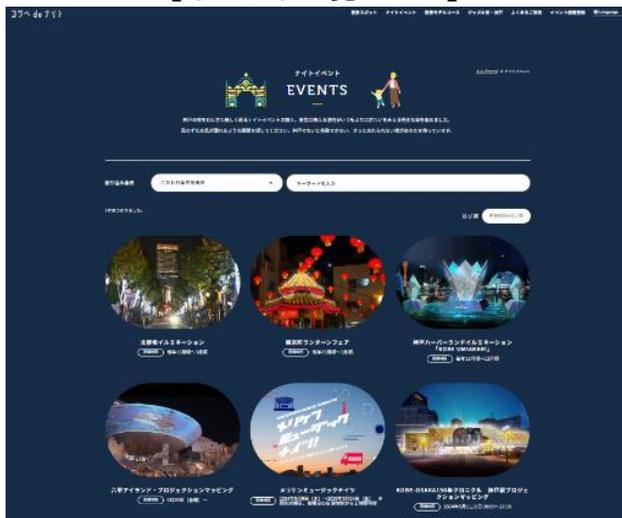
花火やライトアップ、夜市やツアーなど、ナイトタイムイベントの開催情報を幅広く、タイムリーに紹介していきます。また、開催場所や期間、バリアフリー情報も含めたトイレや駐車場の有無など、様々な条件をもとにイベント情報が検索できるようになりました。

③ジャズイベントや神戸ジャズの歴史を紹介する特集ページの追加

市内各地でのジャズイベント、ジャズバー・ライブハウスなどのスポットが検索できる特集ページ、神戸ジャズの歴史紹介ページを追加しました。

サイトを通じ、神戸でのナイトタイムの楽しみ方の選択肢を広げ、より充実した神戸滞在を提案していきます。

【イベント一覧ページ】



【イベント詳細（情報登録反映後）イメージ】



就航都市・茨城で開催の北関東最大規模のマラソン大会でPR

かすみがうらマラソン 兼 国際ブラインドマラソン 2024で 神戸マラソンを中心に観光情報を紹介

茨城県で開催された「かすみがうらマラソン 兼 国際ブラインドマラソン 2024」は、関東地域を中心に1万人を超えるランナーが参加する北関東最大規模の大会。その会場にて、神戸マラソンを含めた神戸の魅力を発信するPRブースを茨城空港とともに出展しました。

ブースはスタート前・ゴール後に通る場所に設置。ランナーを含めた500名以上の方に立ち寄っていただくことができました。多くの方が興味を持たれたのは、神戸マラソンの特徴でもある風光明媚な景色の中を走ることができるといふ点。神戸-茨城間の航空路があることを知らない方もいたため「北関東から関西への唯一の路線」・「1日6便（往復）就航」など、アクセスの良さも合わせて紹介しました。

【イベントの概要】 実施日：4月21日(日)

内容：観光ならびに神戸マラソンPRブース出展



ブースはマラソンメイン会場（スタート・ゴール地点付近）に設置。「いばらきスカイガイド」とともにPRを実施

フェリーでつながる街・宮崎港で観光プロモーションを実施

3万2000人が来場した宮崎みなとまつり2024で神戸の魅力発信

ゴールデンウィーク中に宮崎港で開催された「宮崎みなとまつり2024」。フェリーの船内見学、海のお仕事体験、ステージイベントなど大人から子供まで楽しめる内容で、毎年多くの来場者があるおまつりです。1990年からスタートした同まつりは本年が最後の開催ということもあり、来場者は例年より多い約3万2000人。神戸の人気店4店の商品を販売する「神戸スイーツ・ベーカリー」のブースも出展。昨年同様に人気コーナーとなり、すぐに売り切れた商品もありました。

来場者からは「ポートタワーに行ってみたい」、「水族館が新しくなるのでしょ」など神戸に対する関心の高さを伺えるコメントのほか、「神戸港は宮崎港と同じで街から遠いの？」という距離に関する質問も。神戸港は船を降りれば沢山の観光スポット、市街地に徒歩で移動できることを紹介しました。

今後も宮崎カーフェリーはじめ宮崎の行政や事業者との連携を深めながら、フェリーで繋がる神戸のPRを図ります。

【イベントの概要】 実施日：5月5日(日)

内容：観光PR並びに神戸スイーツ・ベーカリー販売



大盛況の神戸スイーツ・ベーカリーブース



船内見学、海のおしごと会場



ブース来場者へ神戸の観光案内

韓国の旅行博やマラソン大会等にブース出展

神戸観光局では、2025年にインバウンドの神戸市内の延べ宿泊者数100万人を目標とし、神戸空港の路線開通が予想されるアジア圏を中心に積極的なプロモーションを実施中。連泊につながりやすいゴルフやトレッキング、マラソン等の「スポーツツーリズム」を中心に各種展開をはかっています。

韓国は、現状全国ではトップ、兵庫県では台湾、中国について3位の宿泊者数ですが、関空へのフライト便数は他国便と比較しても多く、さらなる取り込みの余地があります。そのため、今回、一般観光およびスポーツの両面で韓国にアプローチを行いました。

ソウル「Seoul International Travel Fair 2024」

5月9日～12日、ソウルで開催された同国最大級のB to C 旅行博覧会・B to B 商談会「Seoul International Travel Fair 2024」に、ひょうご観光本部、姫路コンベンションビューローと共同出展しました。

BtoC向け旅行博覧会には、20～30代や家族連れを中心に約4万2000人が来場。観光局の共同出展ブースには約1500名近くが訪れました。

今回は、昨年度の韓国の旅行博出展での反応、これまで神戸観光局で実施しているマーケティング調査の結果を踏まえて、カフェやパンなど韓国市場に反応の高いと思われる素材を中心にPRを実施。BtoCでは距離感に対する意見、BtoBでは「お得感」や「親孝行」といったキーワードが見受けられました。

●BtoC向け旅行博覧会で担当者がブース訪問者から得た感触

- ・団体旅行等で神戸・兵庫に一度は訪れたことがある人が多いが、バス移動のため距離感についての認識がない人が多い
- ・大阪・京都からの距離感や空港からのアクセス(特に、海上アクセス)等を改めて説明すると、その近さにインパクトを感じている様子

●ビジネス商談会&旅行会社セールスで得られた現地旅行会社の意見

- ・「団体パッケージでは“お得感”を求められることが多いため、神戸観光スマートパスポート等は有効的に活用できそう」
- ・「韓国では最近のトレンドとして“親孝行旅行”の需要も多い。ゆったりと観光できる神戸・兵庫の需要は今後高まる可能性がある」
- ・「教育旅行」「企業研修」「特定分野に特化した旅行」等の一般旅行ではないテーマ型旅行の観点では、様々な引き合い、リクエストがあった



韓国・済州島「第28回済州国際観光マラソンフェスティバル」

5月19日、韓国・済州島にて開催された同島最大のマラソン大会に、済州特別自治道観光協会より神戸観光局が招待を受け(2005年に同協会と友好親善協定を締結済み)、神戸ブースを出展。マラソン大会にもスタッフがPRを兼ねて出場。「神戸マラソン」を主に神戸スポーツツーリズムのプロモーションを行いました。

- ・プロモーション①：神戸マラソンの情報を入れた赤Tシャツ(韓国カラー)を着てマラソン大会に参加(2名)。ランナーとして走りながら神戸マラソンをPR
- ・プロモーション②：神戸観光局のブースを出展し、神戸マラソン及びスポーツツーリズムを紹介。来場者に「神戸観光について&神戸マラソンの参加意向調査」を実施



「神戸観光について&神戸マラソンの参加意向調査」結果抜粋(108名の回答より)

- ・参加の決定で特に重視するのは、マラソンコースの景観や走りやすさ
- ・回答者108名の内25名が、過去神戸マラソンに参加した経験あり
- ・「神戸マラソン」認知度について、「知っている」46名、「知らない」が62名

マラソン後には、同協会とお互いのプロモーション手法やPRポイントの共有・勉強会を実施。ガイドブックの見せ方など、参考になる情報も多く入手できました。また、今後、マラソン、トレッキング、ゴルフ等のスポーツツーリズムの相互交流について推進して行くことでも一致しました。

アンケートでは回答者の約25%が神戸マラソンの参加経験があるという結果が出た反面、神戸マラソンを知らない方も半数以上。さらに認知向上とリピーターを増やすためのプロモーションをしていく必要があると感じました。昨年の神戸マラソンの海外参加者は約500名でしたが、今年は参加者の1割となる2000名が目標。神戸マラソン実行委員会事務局と連携し、誘致活動に取り組みます。

Netflix映画『シティーハンター』4/25（木）より 大好評配信中

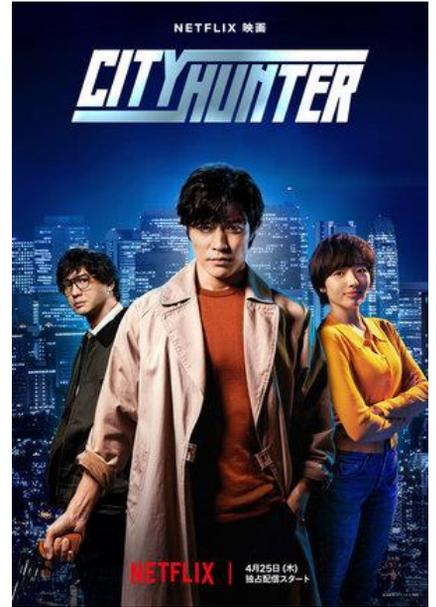
1985年に連載開始以来、単行本累計販売数5000万部を超える人気コミック『シティーハンター』が、日本初の実写化。社会の裏側で活躍するスーパードetective・冴羽獠が相棒の死の真相を追い、亡き相棒の妹・槇村香と共に新宿を駆け回る、コメディアクションです。話の舞台は新宿ですが、撮影は神戸でも。西区のベルトコンベヤ跡トンネル内に大規模セットを設置し、約2週間撮影が行われました。

FeelKOBEN内に撮影秘話等を収めたコラムを掲載しています。

https://www.feel-kobe.jp/column/city_hunter/

◆映画『シティーハンター』

- ・監督 佐藤祐市
- ・出演者 鈴木亮平、森田望智、安藤政信、華村あすか、水崎綾女ほか
- ・ロケ地 ベルトコンベヤ跡トンネル
- ・HP <https://www.netflix.com/jp/title/81454087>



©北条司/コミックス1985

あぶない刑事×神戸市営地下鉄コラボでマナー啓発！

クライマックスシーンが神戸で撮影された『帰ってきたあぶない刑事』（5月24日（金）劇場公開/配給：東映株式会社）。神戸市営地下鉄とタイアップし、マナー啓発を実施しています。駅構内ポスター・サイネージでコラボビジュアルを掲出するほか、館ひろしさんと柴田恭兵さんが呼びかける神戸市営地下鉄オリジナルマナー啓発放送が各駅に流れています。

- ・駅構内ポスター（谷上駅のぞく）
 - ・駅構内サイネージ（西神中央・西神南・学園都市・三宮・新神戸 各駅）
 - ・駅構内放送（谷上駅をのぞく）
- 【西神・山手線】5：30～23：30 【海岸線】6：30～23：50
※ 駅構内放送は10分間隔で実施
※ 上記の掲出・放送期間はいずれも7月7日（日）まで



神戸へのロケ誘致で直接経済効果、初の4億円越え 2023年度の実績が過去最高額に！

2000年の創立以降、昨年までに3,700を超える様々な映像コンテンツの誘致・撮影を実施してきた中、2023年度の支援作品の直接経済効果（俳優・スタッフの宿泊費や飲食費、資機材レンタル費等）が4億円を越え過去最高額となりました。

経済効果が1,000万円以上だった作品は、Netflix映画「シティーハンター」、映画「帰ってきたあぶない刑事」、ドラマ「たとえあなたを忘れても」など8作品。中でも作品単体で1億円以上の経済効果のあった「シティーハンター」は、準備・撤収も含め延べ3,500人が神戸に滞在しました。

	直接経済効果（円）	実績作品数
2019年度	216,106,952	176
2020年度	19,978,100	123
2021年度	124,571,747	187
2022年度	54,669,806	244
2023年度	426,848,177	165



約半年間の制作期間を要した「シティーハンター」ベルトコンベヤトンネルでのセット 上下共

神戸国際会議場・展示場のバーチャル視察が可能に！

4月より神戸コンベンションセンター ホームページで「マターポート」を導入

360度カメラで建物内部を撮影し、その画像をつなぎ合わせて立体的なバーチャル空間を作るシステム「マターポート」。コロナ禍をきっかけに、世界中のMICE施設での利用が進んだシステムです。今年4月には、神戸観光局が管理・運営する神戸国際会議場・展示場でも施設利用者の利便性向上を図るために導入。ホームページで「KCC（神戸コンベンションセンター）バーチャルツアー」として公開を始めました。

「マターポート」を使うと、手元の端末からリモートで、まるでその場にいるかのように施設内を自由に探索できるように。さらには床や壁の寸法、建物の立体図も確認できるため、施設内の移動ルートやロビースペースの広さ、上層から下層までの空間などをウェブ上でイメージしやすくなります。MICE主催者や運営会社の方々は現場へ行かなくても、手元の端末から簡単に運営計画に必要な情報が得られるようになりました。

MICE誘致でも活用し、海外のMICE主催者へお見せして施設の説明をしたり、視察を予定されている運営会社へ事前情報としてサイトをご紹介したりと、よりスムーズなご案内ができるようになりました。

下記よりアクセスいただけます。

https://virtualtour productions/kobe_convention_center/kkc2024/index.htm



KCCバーチャルツアーイメージ図

<6月～7月には5000人以上参加の大規模コンベンションが3件開催されます>

- ・6月 公益社団法人日本麻酔科学会第71回学術集会
第29回緩和医療学会学術大会 第37回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会
- ・7月 第30回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

インドの旅行会社を招待し市内の視察ツアーを実施

アジア諸国に加え、インドのインセンティブツアーも狙い

神戸にはトルコやインド商人らが日本で最初に建てたムスリムモスクのほか、ジャイナ教寺院やインド料理店も充実するなど、インドの人々にとって暮らしやすく訪れやすい街です。そのように神戸と親和性が高いインドからのインセンティブツアー誘致の可能性を探るため、神戸コンベンションビューローは、3月17日(日)～19日(火)の3日間、インドにある日系旅行会社からキーパーソン13名を招待し視察ツアーを行いました。

視察の中では、インドにルーツを持ち神戸で真珠の会社を営むチョウドリ・ケタン氏を懇親会へお招きし、神戸におけるインド人コミュニティの変遷についてお話いただきました。さらに、インド圏誘致に積極的な市内ホテルとの意見交換会や、人と防災未来センターでの震災学習も実施。明石にも訪れ、漁港見学や寿司ランチ、ウイスキー蒸留所の見学を行いました。参加者からは「神戸に親近感が湧いた」や「生の魚のおいしさに驚いた」という声も。神戸をより深く知り身近に感じていただく機会となりました。

帰国後、旅行会社の担当者は、視察で得た知見を生かし、神戸のプロモーションに一層力を入れて神戸でのツアー開催の可能性を模索してくれています。神戸コンベンションビューローはこれまでもアジア諸国からのインセンティブツアー誘致に取り組んできましたが、今回の視察を契機に、今後インドからのインセンティブツアー誘致にも取り組んでいきます。

<視察の内容>

- 1日目：人と防災未来センターにて震災学習
- 2日目：神戸コンベンションセンター視察⇒ホテル視察・意見交換会⇒神戸港クルーズ体験⇒懇親会
- 3日目：明石浦漁港セリ見学⇒江井ヶ嶋酒造ウイスキー蒸留所・日本酒醸造蔵見学



チョウドリ氏を招いた懇親会。「神戸に親近感が湧いた」との声も



明石浦漁港でのセリ見学。生きたままの明石ダコに興味深々



江井ヶ嶋酒造の見学。ウイスキーと日本酒の飲み比べも実施

クルーズ客船の入港情報

4月～5月にかけて延べ25隻の客船が入港しました

神戸港ではこの春も、クルーズ客船の入港シーズンを迎え、4～5月にかけて延べ25隻（外国船22隻・日本船3隻）の客船が入港。同日に2隻が入港することや、2日間停泊する客船もあり、多くの人で賑わいました。



世界一有名な客船
クイーン・エリザベス(90,901総トン)
4月18日(木)



初入港した
バイキング・オライオン(47,842総トン)
4月19日(金)



神戸寄港最大級
M S C ベリッシマ(171,598総トン)
4月30日(火)

客船寄港時には、多くの乗船客や乗組員が観光に訪れます。神戸市客船誘致協議会（港湾振興部もその一員）では、神戸市内への回遊性を高めるため、ターミナルと市街地を結ぶシャトルバスの運行や、おもてなしコンシェルジュによる観光案内など、神戸をより快適に楽しく過ごしていただけるよう、取り組んでいます。今回はその取り組みの一つとして、日本文化や神戸を体験いただこうとミニイベントやミニツアーを実施しました。

- ①4月7日(日)～8日(月) NORWEGIAN JEWEL
 - ・CITY LOOPツアー（北野天満宮、生田川）
 - ・桜ツアー（王子動物園、青谷桜トンネル）
 - ・酒蔵ツアー（沢の鶴、菊正宗）
- ②4月15日(月) WESERDAM
 - ・相楽園「洗心亭」お茶室貸切イベント



参加者された方々は、桜の撮影や、酒蔵での見学や試飲・買い物などを、それぞれ思い思いに楽しんでおられました。

神戸港では、寄港するクルーズ客船の入出港にあわせた歓送迎イベントも行っております。「みなとまち神戸」ならではの客船のある風景を見に、ぜひ神戸港へお越しください。

※神戸港へのクルーズ客船の入港予定や歓送迎イベント予定は「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。
<https://www.city.kobe.lg.jp/a14075/kanko/leisure/harbor/passenger/schedule/index2020.html>

客船「飛鳥Ⅱ」が6年ぶり、世界一周クルーズへ出港！ 出港セレモニーを開催しました

日本最大のクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」(50,444総トン)が、4月6日(土)、神戸港から100日間14カ国16の寄港地を巡る世界一周クルーズへ出港しました。同船が世界一周クルーズを実施するのは2018年以来、実に6年ぶり。神戸市客船誘致協議会では、その出港を祝うとともに、同船の安全な航海を願い、記念品や花束贈呈などの出港セレモニーを実施しました。



セレモニー終了後は、神戸市消防音楽隊による歓送演奏や神戸市消防艇による歓送カラー放水が行われ、見送りに集まった乗船者の家族や関係者など約400人の方々が航海の安全を祈る意味の国際信号旗『UW旗』や飛鳥Ⅱのうちわを振って見送られました。

「飛鳥Ⅱ」は7月に神戸港へ帰港を予定しています。

新入社員向け海上研修「神戸港オリエンテーション」を開催

神戸港関連の企業・団体から39社238名の方が参加

4月4日(木)、5日(金)、神戸港関連の企業・団体様からなる「神戸港振興倶楽部」の新入社員などを対象に、神戸港オリエンテーションを実施。39社から238名が参加されました。

新入社員の方々に、神戸港の特色や機能を理解し、今後の仕事にお役立ていただくことを目的に、このような場を提供しています。

普段は神戸港内を周遊する遊覧船をチャーターし、海上から神戸港の施設を見学。窓の外を流れる景色に沿って進行する説明や、実際に港の空気が感じられるデッキでの見学を通して、神戸港の魅力を体感いただきました。



第51回神戸まつり「おまつりパレード」に参加しました

神戸港で働く関係団体が団結し「うみ・みなとの仲間たち」が海の日をPR

4月21日(日)に「第51回神戸まつり」内で行われたおまつりパレードに、神戸港で働く関係団体「うみ・みなとの仲間たち」と一緒に参加しました。海の日に行われる行事をPRするための恒例行事となっており、関係団体との絆を深める機会にもなっています。開催日のはあいにくの天気でしたが、フラワーロードから三宮中央通りまでの約1kmにわたり、力を合わせて行進しました。

「うみ・みなとの仲間たち」メンバー／

公社)神戸海事広報協会、兵庫県港運協会、神戸運輸監理部、第五管区海上保安本部、神戸観光局



海上保安庁の「うみまる」と「うーみん」は雨天のためこの日は出場なし

第51回神戸まつり「第46回神戸港カッターレース」を開催

神戸発祥の市民向けカッターレースに670名が参戦、約4500人が来場

神戸港カッターレースは、親しみやすい港づくりと市民の皆様に海への関心を高めていただくことを目的に1979年より開催され、今年で46回目を数えます。日本各地の港で実施されている市民対象のカッターレースですが、実は神戸港が全国に先駆けて開催したイベントです。

開催は5月12日(日)、新港第1突堤西側海域にて。コロナ禍は人との接触機会を減らすため取り止めていたトーナメント方式を、4年ぶりに採用し、実施しました。「やはりトーナメントは盛り上がる」「次年度も参加したい」など、参加者からの声や、「来年は出てみたいが可能か？」など、お越しになられた一般の方からもお声をいただきました。

参加チーム数：計67チーム670名参加32レース（1チーム8名編成）
海運・港湾などの企業、市民グループ
当日来場者数：約4500人



スタートの様子

第51回神戸まつり「港の行事」を開催

「港の行事」は三つの事業の総称で、神戸まつりのオープニング行事として位置づけられています。4月16日(火)に神戸ポートオアシスにて開催しました。

1. 神戸港湾勤労者表彰式

(神戸市港湾局 事業)



神戸港において、永年港湾業務に従事し、神戸港の発展に寄与した功績が顕著な港湾労働者、船舶乗組員等を表彰し、その労苦をねぎらうことを目的に実施。

2. みなと繁栄安全祈願祭

(神戸市民祭協会・神戸観光局 事業)



神戸港の繁栄と船舶の安全航海および神戸空港の繁栄と安全な運営を祈願するとともに市民の幸福を願うために実施。

3. 神戸港繁栄の鐘セレモニー

(神戸市民祭協会・神戸観光局 事業)



神戸港の繁栄と船舶の安全航海および神戸空港の繁栄と安全な運営を祈願して「神戸港繁栄の鐘」を鳴らしました。

通常非公開の働く船を見学できるイベント

「第40回神戸港ポート天国」7月15日(月・祝)に開催

神戸港ポート天国は、港や海・船への親しみを深めていただく機会を創出するために毎年海の日に実施しています。

メリケンパークを主会場として様々なイベントを展開する「Kobe Love Port みなとまつり」の一環行事として開催。通常非公開の官公庁船等の特殊な船を無料で間近に見学できる貴重な機会ですので、ぜひみなさんお越しください。

(写真は昨年度参加した船)



税関監視艇「こうべ」



神戸市消防局 消防艇「たかとり」



海上保安庁 巡視船「ふどう」

笑いで新開地文化の盛り上げとまちの活性化を

いつでも気軽に上方落語に触れられる場所「喜楽館」

かつては「東の浅草、西の新開地」と謳われ、わずか1キロ弱の商店街に24軒もの映画館・演芸場が立ち並び神戸随一の歓楽街だった新開地。その場所に2018年7月11日にオープンしたのが「神戸新開地・喜楽館」。昼は上方落語の定席、朝・夜は貸館としても営業し、東西落語、講談、浪曲のほか、音楽、ダンスなどを含めた幅広い演芸が毎日楽しめる施設です。

喜楽館マネージャーの山本憲吾さんは、コロナ禍に届いた多くの応援メッセージに、新開地の文化発展とまちの活性化の一端を担う場として「寄席小屋としてお客様のために何が出来るのかを考え続けていく」と決意を新たにしています。

「お客様」を主体にした戦略とブランディング

開館当初は順調に集客できたものの、コロナ禍の影響で来館者は激減。そこで山本さんが考えた戦略が「お客様を主体にした喜楽館」にすることでした。

その象徴となったのは、昨年ABCラジオと共に開催した「喜楽館アワード」。通常のコンテストでは噺家さんや専門家が審査員を務めるところ、喜楽館では「あなたが選ぶ次代のスター」と銘打ち、お客様が投票し、選ぶスタイルで実施。賞金もお客様主体で寄付を募った結果、多くの人の賛同を得て現金109万円のほか、ビール券などの現物も集まったのだとか。山本さんは「ほかのどの落語コンテストよりも高い賞金額になり、噺家の皆様からも注目を集め大成功だった」と話します。

また、継続的な支援と落語への興味を持ってもらうための取り組みとして「3つの柱」を設定しました。

①「タニマチ制度」で継続的な寄付集めとファン作り

コロナ禍に単発で終わる寄付ではなく、継続的に支えてもらえる仕組みをと、山本さんが考え出したのが「タニマチ制度」。年1万円の支援でタニマチ名刺100枚、入場券などを進呈。割引チケットにもなる名刺をタニマチさんに配り歩いてもらうことで、金銭・集客面での支援につなげます。さらにこの制度は、タニマチさんが「喜楽館は私が育てている！」と「公式」に言える特典(!?)付き。みんなで支えているという気持ちを醸成していきます。

②遠くからでも気軽に来てもらえる「笑い放題切符」

神戸電鉄とタッグを組んで「笑い放題切符」を販売。神戸電鉄線各駅から新開地駅までの往復乗車券、喜楽館の昼席入場券、メトロ神戸で使える商品券、近隣飲食店の割引券付きマップをセットにし、「気軽に来られる」「近隣も盛り上がる」お得なプランに。

「上方落語の殿堂として上方落語協会が運営しているのが大阪の天満天神繁昌亭であれば、“お客様によるお客様のための寄席”が神戸新開地・喜楽館。目指しているのは関西で上方落語が楽しめる2番目の場所ではなく、“並列”のポジショニング」と山本さん。お客様に開いた場所であり、お客様とともに文化を盛り上げ、街を活性化していきたいという想いが数々の取り組みで徹底されています。

取材を終えて

「ここの仕事はええ仕事や、といつもスタッフに言うんですよ。だってお客様みんなが笑顔で帰るんですよ。こんなところは他にない」。取材での山本さんの言葉が気に入り、早速お誘いいただいた木曜夜開催の「元気寄席」に行ってみました。寄席は実は初めて。驚いたのは噺家さんと目が合うほどの舞台と客席の近さ、そして観客との距離感。観客からのツッコミに噺家さんが反応し、みんなで大笑い。その場の空気を全員で作りに上げていくという一体感、心の近さが喜楽館の魅力なのだと感じました。三宮から電車で10分で寄席に行けるのもコンパクトシティならではの。観光客の方にもおすすめしたい神戸の遊び方です。最近声を出して大笑いしていないなと感じた方、一度いかがですか？

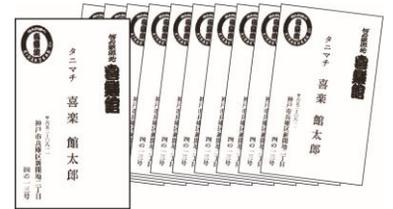
広報・メディアリレーション 福田倫子



喜楽館があるのは新開地の商店街の中。足を踏み入れば別世界が広がる



喜楽館アワード優勝者の桂雀太さん。参加者投票で選ばれた



支援者の名前入り「タニマチ名刺」

③「企画ウィーク」で落語に触れるきっかけ作り

「落語には興味ないけど、〇〇には興味あり」という人に向け、プロ野球、相撲、鉄道、猫好きなど、幅広いテーマを設定した企画ウィークを開催。落語の世界に足を踏み入れてもらうきっかけ作りをし、寄席へのハードルを低くするのが狙いです。



マネージャー 山本憲吾氏

問い合わせ先：
神戸新開地・喜楽館
<https://kobe-kirakukan.jp/>